

海外研修生受け入れと知財を巡る危機管理

令和4年度 11月9日 九州知的財産活用推進協議会

株式会社中山ホールディングス
開発企画部 渡邊美信

Copyright © 2022 - Nakayama Iron Works, Ltd. All
Rights Reserved

目次

1. 会社紹介
2. 国内外大学との連携
3. 海外からインターンシップ受入
4. 知財の侵害
5. 賠償請求への対応
6. 海外高度人材との共同研究開発

Copyright © 2022 - Nakayama Iron Works, Ltd. All
Rights Reserved

1.会社紹介



■ 概要

会社名	株式会社中山鉄工所
英語名	Nakayama Iron Works, Ltd.
代表取締役	中山弘志
創業年月	1908年6月（明治41年6月）
資本金	8,650万円
売上高	56億円（2020年度）
従業員	120人
事業内容	1 破砕機・選別機・製砂機・コンベヤなどの設計・製作 2 砕石プラント・リサイクルプラントの設計・製作 3 自走式リサイクル機械の設計・製作 4 土壌改良機の設計・製作 5 公害防止用機械の設計・製作

1.会社紹介

□国内拠点
全国7拠点



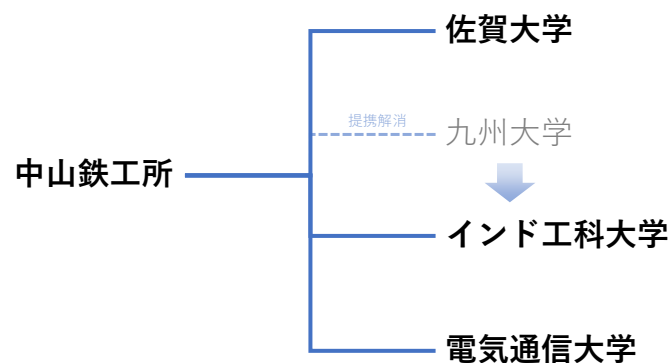
□海外拠点
シンガポール駐在事務所

□創 業 1908(明治41年)6月

■ 沿革

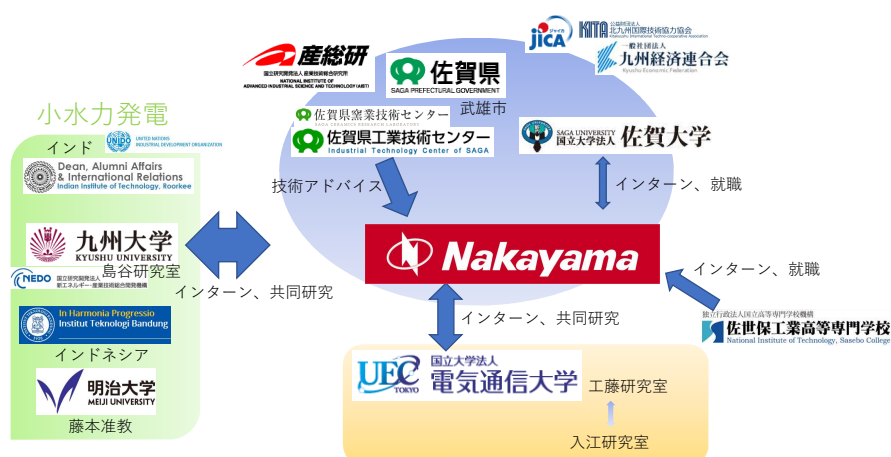
1908	初代中山海八がガス発動機・精麦機の製作工場として武蔵町にて創業
1942	プレーキクラッシャを製作
1950	二代目 中山安弘が事業を継承
1954	シンクルトグトルクラッシャの製作開始
1962	本社・工場を現在地に移転
1964	株式会社に改組
1968	東京支店を開設。本社第2工場（組立工場）新設
1970	輸出用クラッシングプラント製作開始
1971	社団法人日本産業機械工業会に入会。優良申告法人の指定を受ける
1973	機械器具設置工事の建設業許可を受ける（建設大臣許可第907号）
1980	社団法人中小企業センター賞受賞
1984	切羽向ジャイアントジョーククラッシャ開発
1987	破砕整粒機ジャイロバクタ開発
1989	資本金を増資し、5400万円とする。 大阪投資育成会社より出資を受け資本金を増資し8,650万円とする
1990	大阪支店を開設
1992	本社ビル完成。東京環境展に出展（以降毎年出展）
1993	自走式クラッシャ製作開始
1996	三代目社長に中山弘志就任。名古屋営業所を開設
1997	シンガポール駐在所を開設N.C.S.S.を設立
1998	土壌改良機製作開始。ロールクラッシャ製作開始
2000	ISO9001認証取得
2003	広島営業所を開設。仙台出張所を開設
2008	東京メンテナンスセンターを開設。創業100周年を迎える。吸選機シリーズ製作開始
2010	小水力発電システム製作開始
2012	電動自走式シリーズ「Dendoman」製作開始
2013	太陽光発電事業を開始
2014	東京支店を日本橋から青戸に移転。Dendoman機械工業デザイン賞受賞。海外インターン生受入開始
2017	世界初のバッテリー搭載自走式クラッシャNE25JBを開発
2018	ZNSプラントの製作開始
2021	バッテリー式自走式クラッシャ・NE200HBJ開発開始
2022	中山ホールディングス発足

2.国内外大学との産学連携



Copyright © 2022 - Nakayama Iron Works, Ltd. All Rights Reserved

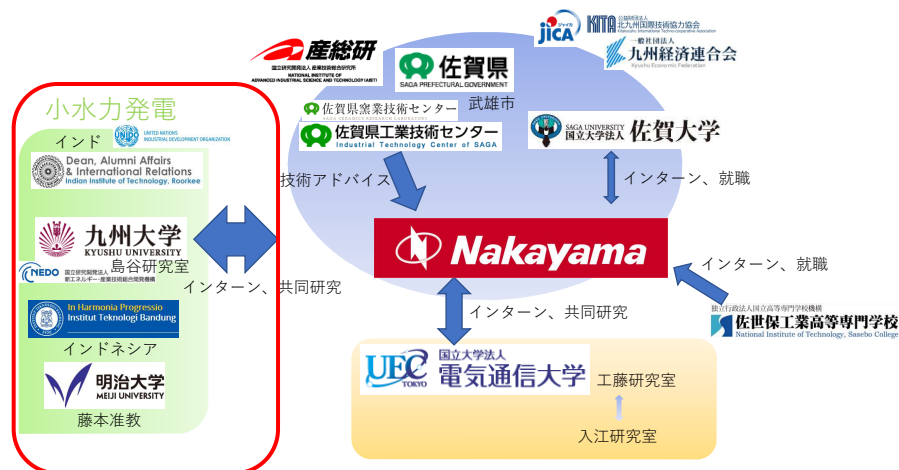
2.国内外大学との産学連携



Copyright © 2022 - Nakayama Iron Works, Ltd. All Rights Reserved

2.国内外大学との産学連携

九州大学と小水力発電で連携を進める



Copyright © 2022 - Nakayama Iron Works, Ltd. All Rights Reserved

2.国内外大学との産学連携

インド国
超低落差小水力発電
F/S (NEDO) 調査報告まとめ
Aug.2011~Feb.2012

平成24年2月末日

実地調査Map 2012

Pilot Installation

Presentation and Demonstration @ Dehradun, Uttarakhand February 7th, 2012

Presentation Session Pacific Hotel Dehradun

Pilot Installation site, Bilapur Canal, Dehradun, Uttarakhand

Pilot Installation

Collaborating with Government Irrigation Workshop Roorkee

Copyright © 2022 - Nakayama Iron Works, Ltd. All Rights Reserved

2.国内外大学との産学連携

工場見学



Copyright © 2022 - Nakayama Iron Works, Ltd. All Rights Reserved

2.国内外大学との産学連携

Arun Kumar博士を白糸小水力発電所へ見学案内



Copyright © 2022 - Nakayama Iron Works, Ltd. All Rights Reserved

2.国内外大学との産学連携

インドでの水力発電のプレゼン



参加者
静岡大学 藤本准教（元九州大学）
N c s s 上田君、渡邊

Copyright © 2022 - Nakayama Iron Works, Ltd. All Rights Reserved

3.海外からインターンシップ受け入れ

インド工科大学と小水力発電に関する技術交流
をきっかけとして
担当教授から推薦された卒業生を受け入れ開始。

[de Lab Network \(nakayamairon.com\)](http://deLabNetwork(nakayamairon.com))



ラボ概要 Lab overview

ITBdeラボは、中山鉄工所主催のもと、バンドン工科大学の学生が次世代の産業技術を手をこめて開発しています。当ラボでは中鉄工所製品の設計・開発・生産に関する最先端技術の提供を目的としています。ITBdeラボは中鉄工所が日本企業に提供している技術支援の一環として、2020年2月14日(金)に開設されました。中鉄工所プロジェクトの目的、高品質な製品・サービスを提供するための技術支援を担っています。当ラボは主にインターンシップや外国人エンジニアとして働く学生によって運営されています。インターンシップを通じて、学生たちの知識や実践的なスキルを向上させること、さらには卒業生がインドネシアの産業に貢献することを目的としています。インターンシップの開始により、高品質な製品・サービスの提供が期待されています。

Copyright © 2022 - Nakayama Iron Works, Ltd. All Rights Reserved

3.海外からインターンシップ受け入れ

インターンシップの本格化

1週間の短期ではなく、成果物を出す長期インターン

2013 九州大学の島谷研究室の高木さん：当社へ2ヶ月

2014 ITB Ulin & Adhi：当社へ3ヶ月
北川：インドネシア水車メーカーへ5ヶ月HIDA

2015 ITB Imam & Briandhika：当社へ3ヶ月HIDA
IIT Zafar：当社へ3ヶ月～

Copyright © 2022 - Nakayama Iron Works, Ltd. All Rights Reserved

3.海外からインターンシップ受け入れ

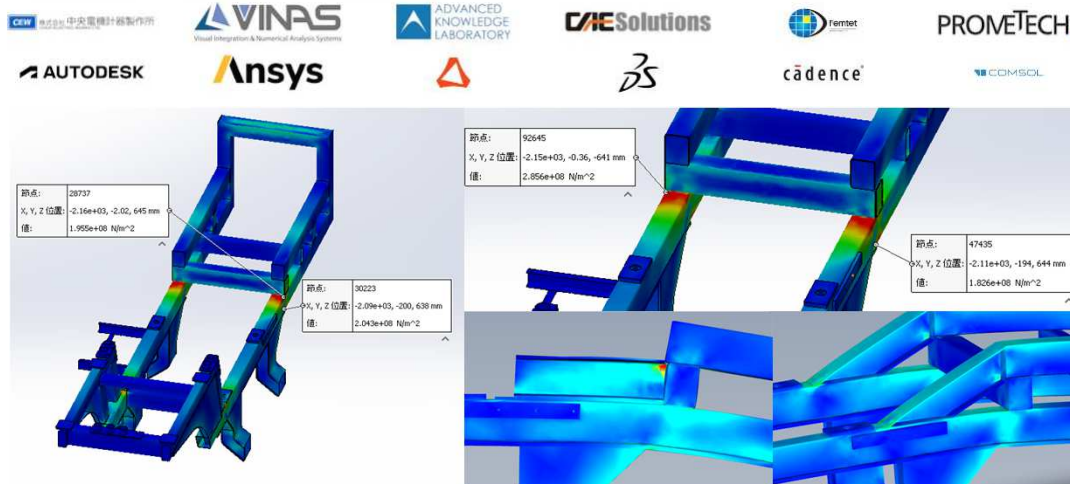
インターンシップのメリット

- ・大学の知識、人材、人脈を即投入
- ・プロジェクトの垂直立ち上げ
- ・文化交流
- ・経産省プログラム利用。政府機関を利用でき、国内、国際的に有利
 - ↳同期の多国籍親友ができる

Copyright © 2022 - Nakayama Iron Works, Ltd. All Rights Reserved

4.知財の侵害 3dCADの設計、3d解析をしていたら、いつの間にか…

主な構造解析ソフトメーカー



Copyright © 2022 - Nakayama Iron Works, Ltd. All Rights Reserved

5.賠償請求への対応

顧問弁護士・弁理士に相談

「過去の実績から300～600万円が落としどころでしょう。」

先方：価格交渉

インド工科大：争っていい。協力する

当方：裁判でもいいから争う。出来れば日本で

情報を収集し、相場感を確認。

裁判で数千万円か。

Copyright © 2022 - Nakayama Iron Works, Ltd. All Rights Reserved

5.賠償請求への対応 知り得た情報

- ・ こういうのはトラップとして相手国を選ぶ。
日本で1社当たり@10/月
その内、内容のよい企業に的を絞って攻撃。
- ・ 攻撃側の会社では担当者は、渡り歩く様だ。
公的機関はほぼ丸のみで契約することが多い。
- ・ 頼りになるのは身近な弁護士・弁理士。
兎に角、情報戦。数多く調べる
- ・ 外国では賠償請求は意味がない

Copyright © 2022 - Nakayama Iron Works, Ltd. All Rights Reserved

6.海外高度人材との共同研究開発

- ・ 何はともあれ、不正ソフトは絶対持ち込まないことを強く、指導。
- ・ MOUを結ぶ
- ・ オープンイノベーションで開発を進める。
- ・ 単独で開発する以上のイノベーションは起きている。
- ・ インド、インドネシア、ブータン、イギリスなど和が広がっている。



Hereby I attach the Report ITB de Labo's Activities in September, 2022.
If there are questions, please don't hesitate for contact us.

Thank you in advance

ITB de Labo

4 個のファイル



1

2 件の返信 最終返信: 今日 14:31

Febriyanti Panjaitan 14:30
Dear All

Copyright © 2022 - Nakayama Iron Works, Ltd. All Rights Reserved